

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年 9 月27日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和 7 年数値は 1 月 1 日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	272	38	3	123	135	299
令 和 7 年	310	37	4	154	148	343
前 年 同 期 比	-38	1	-1	-31	-13	-44

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	47	17.3%	5	0	25	23	53
	後立山	80	29.4%	16	1	29	47	93
	その他	30	11.0%	3	0	17	12	32
計		157	57.7%	24	1	71	82	178
中央アルプス		22	8.1%	0	0	11	12	23
南アルプス		8	2.9%	1	1	4	2	8
八ヶ岳連峰		26	9.6%	5	0	10	13	28
その他の山岳		59	21.7%	8	1	27	26	62
計		272		38	3	123	135	299

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	74	27.2%	18	0	60	0	78
転 倒	56	20.6%	0	0	56	0	56
病 気	21	7.7%	8	0	0	13	21
道 迷 い	29	10.7%	0	0	0	39	39
落 石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪 崩	3	1.1%	2	0	1	0	3
落 雷	2	0.7%	0	0	2	0	2
疲労凍死傷	43	15.8%	3	0	0	44	47
不明・他	44	16.2%	7	3	4	39	53
計	272		38	3	123	135	299

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	1	0	1	6	8	45 22.1%	0	0	1	4	5	26 27.4%	13	71 23.7%
2 0 代	2	0	6	16	24		0	0	2	5	7		31	
3 0 代	1	0	4	8	13		1	0	4	9	14		27	
4 0 代	4	0	11	12	27	71	1	0	2	2	5	31	32	102
5 0 代	5	0	22	17	44	34.8%	1	0	16	9	26	32.6%	70	34.1%
6 0 代	12	1	18	21	52	88	2	0	12	5	19	38	71	126
7 0 以上	8	2	14	12	36	43.1%	0	0	10	9	19	40.0%	55	42.1%
計	33	3	76	92	204		5	0	47	43	95		299	
比 率	68.2%						31.8%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（9/24～9/27）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9月24日	北アルプス 餓鬼岳	男	53	負傷	滑落	単独で餓鬼岳から燕岳に向けて縦走中、剣ズリ付近で、滑落、負傷
9月24日	ハケ岳連峰 蓼科山	女	65	負傷	転落	4名パーティで蓼科山に入山し、山頂付近の方位盤に乗ったところ、バランスを崩し、転落、負傷
9月25日	下伊那郡喬木村 毛無山	男	71	死亡	滑落	2人パーティできのこ採りのため毛無山に入山し、何らかの原因で、滑落
9月25日	北アルプス 白馬鍾ヶ岳	男	60	無事救出	道迷い	単独で白馬鍾ヶ岳から白馬鍾温泉へ向けて下山中、道に迷い、行動不能
9月26日	北アルプス 奥穂高岳	女	56	負傷	滑落	2人パーティで奥穂高岳から涸沢に向けてザイテングラートを下山中、スリップし、滑落、負傷
9月27日	須坂市大字豊丘地籍 豊丘ダム周辺の山林内	男	63	死亡	滑落	2人パーティできのこ採りのため豊丘ダム周辺の山林に入山し、何らかの原因で、滑落

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、6件の山岳遭難が発生しました。高山帯では北アルプスやハケ岳連峰で、滑落や道迷いによる遭難が相次ぎ、低山帯では、きのこ採り中に急斜面から滑落する死亡遭難が2件発生しました。

【きのこ採り遭難に注意】

先週末、下伊那郡喬木村と須坂市で、それぞれ、きのこ採り中に急斜面から滑落する死亡遭難が発生しました。

急斜面に自生するきのこの採取を目的とした場合、自ら足場の悪い斜面へ入っていくこととなりますが、当然、スリップやバランスを崩して滑落する危険性は高くなります。

急斜面で滑落した場合、転がりながらどんどん加速するため、滑落中に自分の意思で滑落を止めるのは、ほぼ不可能です。最終的には、斜度が緩くなるか、凹地形に入るか、木や岩にぶつかって停止しますが、致命的な外傷を負っているケースがほとんどです。

9月中も、曇りや雨のすっきりとしない天気が続いていますが、濡れた岩肌や木の根、落ち葉の上は非常に滑りやすく、滑落や転倒の原因となります。

入山する前に、「きのこ採り」の注意点を今一度確認し、慎重な行動を心掛けましょう。